公 式 記 録

平成27年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技　準決勝 【 164 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日 時	2015 年 6 月 5 日 (金) 13 : 00 キックオフ					会 場	アスパ五色 サブグラウンド		
天 候	雨	風	弱風	ピッチ	天然芝 ・ 人工芝 ・ クレー	状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司	記 録	後藤 大輔	／	石塚 健二	観 衆	500 人
主 審	川崎 秋仁	副審1	梅谷 昇平	副審2	前田 晃男	第4の審判員	奥山 恒平		

チーム名				チーム名
神 戸 高 校	0	0 前半 0 / 0 後半 1 / 延前 / 延後 / PK戦	1	三田学園高校 kick off
選手番号 ○× 先 PK戦				PK戦 選手番号 先 ○×

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選 手 名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選 手 名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					竹村 雄介 2年	25	GK	GK	1	高見 英佑 3年					分	
	分					糸永 洋都 2年	4	DF	DF	2	岡本 慎司 3年					分	
	分					坂本 亮輔 1年	12	DF	DF	4	前田 寛和 3年					分	
	68 分					加藤 幹太 2年	6	DF	DF	5	森本 実言 3年					分	
	分					内橋 慶人 3年	5	DF	DF	15	青山 京太 2年					分	
	分					朝田 遼 2年	7	MF	MF	6	佐野 成 3年					分	
	60 分					廣畑 貴一 2年	22	MF	MF	7	加藤 航平 3年	1	1			分	
	分					大瀧 建也 3年	3	MF	MF	8	小堂 安沙人 3年	1				分	
	分					谷口 直生 2年	16	MF	MF	9	西殿 悠太 3年	1				41 分	
	分				1	伊東 朋哉 3年	10	FW	FW	10	吉岡 晟弥 3年		1＊			分	
	51 分					熊谷 太志 2年	21	FW	FW	11	坂井 優太 3年	1	1			70+1 分	
	分					中小路 翔平 3年	1	GK	GK	12	瀬尾 光宏 2年					分	
	分					脇坂 優志 3年	2	DF	DF	3	城戸 海舟 3年					分	
	分					清水 光希 3年	8	MF	DF	13	足立 泰 2年					分	
21	分					田代 蒼馬 2年	13	FW	DF	21	澤田 亘輝 2年					分	11
6	分					矢田 悠斗 2年	15	MF	MF	14	本堀 幹 2年					分	
	分					瀧本 新太 3年	20	DF	MF	17	山田 新汰 2年					分	
22	分					雑賀 將 3年	24	MF	MF	20	菅村 季樹 2年		1			分	9
	分					井岡 光 2年	23	DF	FW	18	中野 恭兵 2年					分	
	分					山重 舜太郎 2年	14	DF	FW	19	橋上 和生 3年					分	

時 間	警・退	No.	氏 名	事 由	合 計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合 計	時 間	警・退	No.	氏 名	事 由
分					1			0	1	シュート	4	4			8	分				
分					14			5	9	ＧＫ	3	1			4	分				
分					1			0	1	ＣＫ	1	2			3	分				
分					5			2	3	直接ＦＫ	2	1			3	分				
分					5			3	2	間接ＦＫ	1	3			4	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警２

得点経過	時 間	チ ー ム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
	46 分	三田学園	10	吉岡	0 － 1	右1 20 → 2 ∩ 中央1 10 HS
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	

戦評者　所 属 【 加古川北・滝川 】　氏 名 【 井上・小森 】

戦評

小雨が降り続く中、ロングボールを多用してFW⑩伊東の走力を生かした攻撃を続ける神戸高校と、立ち上がりからサイド攻撃と⑩吉岡と⑪坂井の突破でゴールを狙う三田学園の試合は、前半、お互いの持ち味を出して、膠着した状態が続く。試合が動いたのは46分。後半からポゼッションを高め主導権を握った三田学園が、右サイドバック②岡本のオーバーラップからクロス、FW⑩吉岡がヘディングシュートを決め均衡を破る。その後も攻勢を続けた三田学園が１－０で勝利をおさめた。

三田学園は決勝戦に駒を進めるとともに、初の全国大会への切符を掴んだ。敗れた神戸高校は粘り強い守備が光ったが一歩及ばなかった。

［備 考］